



東海大学大学院 2018年度 家族看護研究会

家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて事例分析を行っています。

今回の講師は、

東海大学医学部看護学科 櫻井 大輔 先生です。

渡辺式家族アセスメントモデルを用いて事例分析を行います。



事例紹介

妻のくも膜下出血発症により家族の生活が激変！
家族は献身的に面会に訪れるが挿管により会話ができない。
看護師として急性期の家族にどのように関わっていけばよいのか・・・。

プロフィール：櫻井大輔先生（家族支援専門看護師）

国際医療福祉大学卒業後、県立足柄上病院に入職。
東海大学大学院で家族看護学専攻し、家族支援専門看護師となり現場で活躍されていた。この4月から東海大学医学部看護学科特任助教となり、各地で家族看護教育普及につとめている。

2018年7月21日 土曜日

13:00～16:00

場所：東海大学伊勢原キャンパス 1号館 第1会議室

アクセス：小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分
バス10分（東海大学病院下車）

問合せ先： 0463-93-1121（代表） 担当；井上

研究会ホームページ： <http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：kazoku@tokai-u.jp

